



記念樹

発行者
医療法人 大分記念病院

大分市羽屋四丁目2番8号
TEL 097-543-5005



ホームページアドレス <http://oitamh.jp>

2021年5月15日 Vol.134

医療法人 大分記念病院の

新しい継承者のご紹介と当院の医療の将来展望について

当院の初代創設者である私たち四人

の医師は、1980年12月3日に現在の
大分市羽屋の地に各医師が完全に平等
な権利と義務の下で共同経営をする、い
わゆる「グループ・プラクティス」のシステ
ムを採用し、白血病や悪性リンパ腫など
の血液疾患を専門とし、内科疾患全般を
診療するために48床の病院を開設しま
した。それと同時に年齢も性格も異なる
医師のグループ診療の実践と、医師中心
の医療から医師と他のすべての職種の医
療スタッフが対等の立場で協力して患者
さんの診療とケアに当たるいわゆる「患
者中心のチーム医療」を理念に掲げまし
た。

開院以来40年間の試行錯誤の末、
118床の本院の他に、透析専門の竹田
クリニックおよび有料老人ホーム「はや
の里」とデイサービス「森のコーラス」の
2施設を併設し、現在は私的一般医療法
人から半公的な基金拠出型医療法人へ

と轉換しました。

これにより病院の継承も行われ易くな
り、呼吸器専門の2人の医師が常勤医師
として加わり、当院の医療理念と病院経
営を継承することになりました。

当院をここまで発展させた私たち初
代の創設者のうち、末友祥正理事長は今
年3月31日付けで退任し、同時に向井隆
一郎院長も退任しましたが、それぞれ名
誉理事長、名誉院長として診療は続行
し、病院経営をサポートすることになり
ました。

そして今年4月1日から新理事長に
49歳の末友仁医師(呼吸器専門医兼指導
医)が、新院長に39歳の向井豊医師(呼吸
器専門医)が就任しました。

コロナ禍における診療においても、両
医師が協力していち早く、多目的ホール
を発熱外来に転用し、抗原およびPCR
検査を実施したり、ICU(感染)ICU
ールチーム)の活動を指導し、病院や老

人施設でのコロナ感染の予防に大いに寄
与しているだけでなく、当院が開院以来
最も重要視しながらなかなか実現でき
なかった24時間診療、すなわち救急医療
体制のレベルアップに尽力してきまし
た。

コロナ禍による人的および経済的損失
やコロナ後の日本経済の行く末など将来
に対する不安は多々ありますが、初期創
設者の経験を生かし、若き継承者の情熱
と行動力によって新病院を早く建設し、
職員全員が「Patient's Needs is First」
(患者さんのニーズが第一)をモットーに
地域住民の皆さんに愛され、求められる
医療、看護、および介護を実践いたしま
すのどうか今後とも地域住民の皆様
のご協力とご指導をよろしくお願い申
上げます。
(豊田)

専門分野

呼吸器内科 / 内科一般

専門医等

医学博士 / 日本呼吸器学会呼吸器専門医・指導医 / 日本内科学会総合内科専門医 / 結核・抗酸菌症専門医 / 禁煙学会認定専門指導医 / 日本がん治療認定機構がん治療認定医 / インフュージョンコントロールドクター / 日本医師会認定産業医

趣味

Cycling, Boat Fishing,
Camping and Have a drink
with friends.

**理事長****就任あいさつ**

すえとも まさし

末友 仁 医師

1971年10月14日

大分市生まれ

大分記念病院は内科医として志を共にする4人の医師が設立しました。以来40年の間に病棟増築、関連施設の設立などで当初26名の職員が357名にまで増えています。

その間に育んできた職員のメンタリテイ、スキルが地域の皆様からの信頼に繋がった結果なのだと思います。

これまでの理事長は創設者の交代によって行われてきました。今回初めて創設者以外での理事長就任となりましたが、これまで築き上げてきた本院の文化、素養を維持しつつ、時代の変化に柔軟に対応する必要を感じています。

国による医療費削減の施策、コロナ禍による病院経営への負担、経済の悪化など医療を取り巻く環境は厳しい状況で

すが、本院が設立以来大事にしてきた理念「患者中心のチーム医療」を引き続き実践できれば、必ず乗り越えられるものと考えています。

現在、病院の建て替えを計画していますが、そのハード面の一新は少なからず職員のモチベーションに対して好影響があるであろうし、そうなればより一層地域医療へ貢献できるであろうと想像され、一日でも早く実現したいと思っています。一層信頼される病院への発展に向けて尽力しますのでよろしくお願いたします。

専門分野

呼吸器内科 / 内科一般

専門医等

日本呼吸器学会呼吸器専門医 / 日本内科学会総合内科専門医 / 日本がん治療認定機構がん治療認定医 / 日本医師会認定産業医 / 難病指定医

趣味

Coffee , Whiskey



病院長 就任あいさつ

むかい ゆたか
向井 豊 医師

1981年12月13日
大分市生まれ

2021年4月1日から先代院長、向井隆一郎の後任として、大分記念病院の院長に就任しました、向井豊でございます。この場を借りまして、皆様にご挨拶申し上げます。

現在、新型コロナウイルスのパンデミック、超高齢社会にもなっており、医療を取り巻く情勢がめまぐるしく変化する中、院長就任という重責に、身の引き締まる思いがしております。

当院は40年前の開院以降、地域の皆様に支えていただき、当初からの血液内科をはじめ、合計15の診療科をもつ内科総合病院として成長させていただきました。

パンデミックに伴った患者の方々の病院受診の形態の変化、超高齢社会による医療費増大にもなっており、今や病院が淘汰されていく時代です。その中、医療を提供する側は限られた資源、設備、人員で柔軟に対応していく必要があります。

そのため当院では開院当初から多職

種で各々を尊重しながら連携するチーム医療を培って参りました。患者の方々やご家族の皆様から信頼を得るのはもちろん、チーム医療を継続するには人材の育成が不可欠です。患者の方々に満足していただくには職員にとっても満足いく職場でなくてはなりません。それぞれの職種、職場で各々の力を発揮できるような環境作りにも努めて参ります。

また、当院が地域医療を支える役割を果たすためには、診療所の先生方、病院の先生方からの紹介が不可欠であります。より親密な病院連携・病診連携を作っていくと考えております。地域の先生方にはこれまでのご協力を感謝するとともに、今後とも御高配いただけますようお願いいたします。

私個人としては、病院の運営、マネージメントの責務に努めることに加え、一呼吸器内科医として地域の皆様のお力になれるよう研鑽して参ります。

はやの里便り



2020年度「はやの里」満足度アンケートの結果から ～満足度の高い生活を目指して～



“幸福度”という言葉が新聞やニュースで耳にしたことのある方もいらっしゃると思います。2020年の“幸福度ランキング”の国別で日本は62位、都道府県別で大分県は3位でした。

「はやの里」で生活をされるご入居者、及びそのご家族の皆様が少しでも“幸福や満足”を感じていただけるよう職員一同、日々介護サービスの質の向上と機能の改善に努めております。

その一環として「はやの里」では“満足度”に対するアンケートを入居者、家族、ケアマネジャーを対象に毎年度実施しています。今回はその結果の一部を前年度と比較し報告させていただきます。

自由記載の欄に書かれていたものです。

＜入居者＞

- 食事は栄養士が各自に合ったものを出してくれるので安心。
- 言葉遣い、接し方は互いに信用しているので、改まったところ、くれたところ(ユーモア)もあるので楽しい。
- 病院直営だから安心。

＜家族＞

- 私共家族も安心して生活が出来ます事を本当に有難く、感謝以外は何もありません。皆様ありがとうございます。
- 入所当時は面会ができない状態で不安でしたが、こまかく様子を教えていただき安心しました。7ヶ月過ぎ少しずつ順応してきたと思います。その間私どもの要望に丁寧に対応していただき感謝しております。

＜ケアマネジャー＞

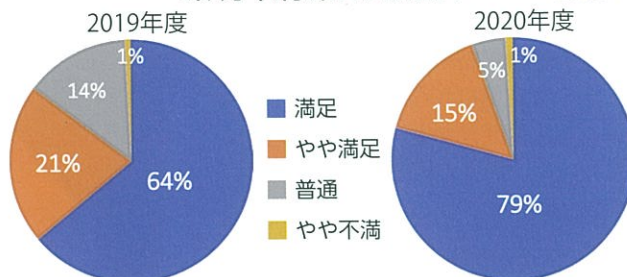
- 利用者の方々の体調や様子に変化があればすぐに対応して報告してくれるので助かります。いつもありがとうございます。
- 感染症予防対策のなかでもデイサービス、訪問看護ともきちんとした報告をいただき安心してケアをお任せすることができました。特に相談員さんが窓口になり各事業所やご家族との調整も担っていただけるので助かっています。

全ての項目において、満足、やや満足と回答された方の割合が前年度と比較し高くなっています。ですが、不満、やや不満と回答された方がいらっしゃるのもまた事実です。

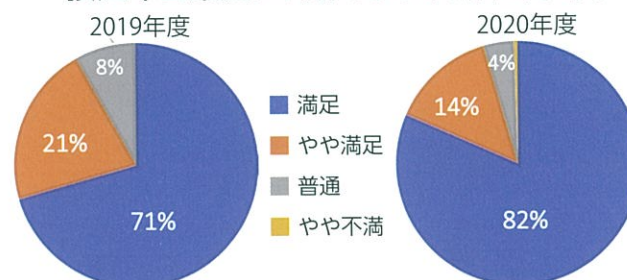
これらの結果を真摯に受け止め、不満を感じている方にこそしっかり耳を傾け、現状に満足することなく2021年度は前年度以上に満足していただける生活の場を提供していきたいと思っております。これからも個別性の高い、質の良いサービスを提供していくために引き続き皆さまのご意見、ご要望をお聴かせいただけると幸いです。

有料老人ホーム「はやの里」生活相談員 尾辻 健太

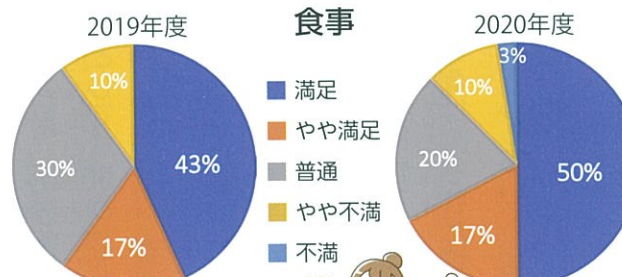
環境（清潔さ、設備）



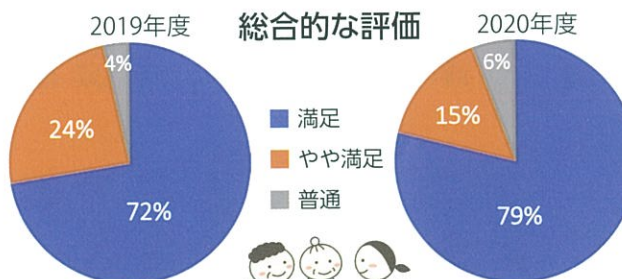
接遇（言葉遣い、身だしなみ、接し方等）



食事



総合的な評価



お問い合わせは
TEL 097-543-6400

新入職員紹介

1月から4月に入社した新入職員
23名をご紹介します。
どうぞよろしくお願い致します。



丸山 加織
(看護部)

大分記念病院の職員の一員として貢献できるよう精一杯尽力いたします。



下石 美苗
(看護部)

早く仕事を覚えられるように頑張ります。



後藤 由佳里
(看護部)

血液疾患や透析など新しい分野ですがしっかり学びスキルアップをしていきたいです。よろしくお願いします。



赤峰 由里絵
(看護部)

患者さんの気持ちに寄り添った介護を安全に行えるように日々学び考えながら成長していきたいです。



光長 梨緒
(看護部)

患者さんの立場に立ち患者中心の看護提供が行えるよう、日々自分と向き合い、積極性や向上心を持って取り組んでいきたいです。



田中 雅子
(看護部)

患者さんの心に寄り添える看護師になれるように頑張っています!!



佐藤 真衣子
(看護部)

思いやりの気持ちを大切に、笑顔で患者さんやご家族の思いに寄り添った看護が行えるよう一生懸命頑張ります。



梶原 侑良
(看護部)

笑顔を忘れずに患者さんによりよいケアを提供できるように介護福祉士になれるように頑張ります。



長野 真鈴
(看護部)

まだまだ未熟者ですがしっかりと指示を聞き、日々精進していきたいと思っております。よろしくお願いします。



山田 拓人
(薬剤科)

患者さんの目線に立ち、適切な服薬指導やアドバイスができる薬剤師になりたいです。



岡崎 優衣
(薬剤科)

早く業務を覚え、調剤薬局での経験を生かしながら患者さんやスタッフの力になれるよう努力していきます。



後藤 果那
(看護部)

信頼される介護福祉士になります。



山代 莉穂
(臨床検査科)

1つ1つ教わったことを身に付けて、1日でも早く信頼される検査技師になれるよう努めます!



金森 伊万里
(臨床工学科)

常に緊張感を忘れずに日々誠実に仕事に励みます。



花宮 史希
(臨床工学科)

患者さんやスタッフから信頼される技士になれるように努力します。



久保 舞優
(栄養科)

私は名前と顔を早く覚えてもらえるように元気のいいあいさつをし、また先輩方とも自分から積極的にコミュニケーションをとっていきたくです。



福永 萌香
(栄養科)

患者さんひとりひとり食形態や食事が違い、覚えることが沢山あると思うので、大学で学んだことも活かしつつ、今後さらに勉強していきたいです。



有川 しげ子
(栄養科)

仕事を早く覚え、少しでも戦力になれるように頑張りたいと思います。

新任医師紹介

4月1日より川野 まどか 先生が循環器内科医として当院に着任されました。今後、幅広い分野で活躍されることを期待しています。

川野 まどか 先生 にインタビュー

■大分記念病院の第一印象は?

朝からあいさつを大切にされていてとても雰囲気の良いなと感じました。働きやすそうな印象です。

■趣味や特技、好きなものはありますか?

趣味はまだありません。インドア派なので、おうち時間を楽しめるような趣味を探しています。

■今後の抱負をお聞かせ

ください。
患者さんやそのご家族、それぞれの背景に合わせてきめ細やかな対応を心がけたいと思います。



入社式および新入職員 オリエンテーション

4月1日(木)に2021年度の入社式と新入職員オリエンテーションを実施しました。

今年度はコロナ禍のため、会場の収容人数を半分に減らし、開催場所を2か所に分けて実施しました。そして、そのうち1か所はライブ配信で会場の様子を中継しました。

また、例年なら数日間行うオリエンテーションも、今年度は自宅でのDVD学習となり、コロナ禍における新しいスタイルの入社式とオリエンテーションで新入職員を迎えました。当院の未来を担う新入職員の皆さんの今後の活躍に乞うご期待です。



第1会場



第2会場

新入職員紹介



小野咲
(はやの里 訪問介護ステーション)

さらにスキルアップし、入居者の方々の小さな変化にいち早く気付いてあげられるような介護員を目指します。



末吉麻里耶
(医療支援室)

専門知識を早く身につけ、先生や看護師さん、医事課の方々と連携を取りながら、患者さんに安心感のある医療サービスを提供していきたいです。



中尾佳恵
(竹田クリニック 栄養科)

患者さんにおいしい食事を提供できるように早く仕事を覚えて丁寧な食事作りに努めたいと思います。



大塚巧巳
(住吉有料老人ホーム はやの里)

体調管理に気をつけてがんばります。



江藤典子
(竹田クリニック 看護科)

看護師歴30年目です。業務に早く慣れるよう頑張ります。よろしくお願いいたします。



おくすり通信

睡眠薬を服用されている方にお伝えしたいこと

睡眠薬の種類について

睡眠薬には大きく分けて2種類あり、ひとりひとりの症状に応じて使い分けています。

- ①脳の働きを抑制し、穏やかにする睡眠薬。
- ②自然な眠気を強くする睡眠薬。

睡眠薬のここに注意してください！

睡眠薬(特に脳の働きを抑制し、穏やかにする睡眠薬)には翌日まで眠気が続く、ふらつき、お薬がないと不安になる(依存症状といいます)といった副作用が起きる場合があります。



生活習慣を見直してみよう

最適な睡眠をとるためにも、睡眠薬を服用するだけでなく生活習慣も見直してみよう。

毎朝、同じ時刻に起床しましょう。



規則正しい3度の食事と適度な運動を心がけましょう。



睡眠導入剤の代わりにと飲酒するのは避けましょう。



睡眠時間には個人差がありますのでこだわりすぎないようにしましょう。



最後に

睡眠やお薬のことなど、気になることがありましたら、医師または薬剤師までご相談ください。

薬剤科 佐藤 愛子

作りま専科

桃缶シャーベット

<材料> 4人分

白桃の缶詰 ……1缶(400g)
レモン汁 ……小さじ2
水 ……カップ1/4

作り方

- ① 白桃はザク切りにしてシロップとともに小さめのバットに入れ、冷凍庫で4~5時間凍らせる。凍らせた後、1~2分間常温に置き、2cm角に切る。
- ② ①とレモン汁、水をフードプロセッサーに入れ、軽く回す。
- ③ ②を再びバットに入れ、冷凍庫で1~2時間凍らせる。
- ④ ③で凍らせたものをスプーンで削り、器に盛りつける。

♪ちょこっとアレンジ♪

上記①と無糖のプレーンヨーグルト(カップ1と1/2)をフードプロセッサーにかけると、桃缶スムージーの出来上がりです。

お知らせ

今年度4月1日付けで、医療法人大分記念病院の執行部交替を行いましたので、ご報告いたします。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

常務理事	名誉理事長	高田	三千尋
常務理事	名誉理事長	豊田	貫雄
常務理事	理事長	末友	仁
常務理事	病院長	向井	豊

編集後記

桜満開のうららかな春からさわやかな新緑の季節へ。季節は確実に美しさを纏いながら移り過ぎていますが、いまだはびこる新型コロナウイルスの脅威に鬱々もやもやとして、なんとなく気持ちの晴れない今日この頃です。

そんな暗澹とした日常を吹き飛ばすべく、この春当院に新しい風の到来です。このたび4月1日付けで、新理事長に49歳の末友仁医師、新病院長に39歳の向井豊医師が就任しました。若いお二人が、初期創設者たちの築き上げた実績を生かしながらも、これからの当院の新しい未来を構築していくという新たなステージの幕があげました。また今年度も多くの新入職員を迎えいれました。たくさんの頼もしい力が加わり、ますますパワーアップした当院をみなさまどうぞよろしくお願いいたします。(図書室 河野)

医療法人 大分記念病院

基本理念

1. 私達は法人各施設・各部門が協力して、患者中心のチーム医療と利用者中心のチームケアを実践することにより患者及び利用者の満足度と幸福に貢献します。
2. 私達は常に診療レベルの向上を図ると共に地域住民の皆様へ安全で良質な医療とケアを提供します。
3. 私達は地域の医療、福祉機関との緊密な連携を保ちながら一般急性期医療および地域包括ケアを実践します。

基本方針

1. 専門的医療レベルと医のアートを兼ね備えた全職員による全人的医療を患者の皆様へ提供します。
2. 患者及び利用者の皆様の立場に立って、信頼と安全の確保に全力を尽くします。
3. 患者及び利用者の皆様の満足度を高めるべく、心のこもった医療と介護サービスに努めます。

大分記念病院ホームページはこちらから

大分記念病院

検索

